

知られざる郷土、 サハリン(樺太)

サハリン
(旧 樺太)

北緯50度線

ホルムスク (旧真岡) ● ● ユジノサハリンスク
● コルサコフ (旧大泊)

稚内

北海道

幌

主催:千葉市生涯学習センター
企画・運営:NPO法人 日本サハリン協会

- ◇対象 市民 ◇定員 50人
- ◇費用 無料
- ◇会場 生涯学習センター地下1階 小ホール
- ◇日時 2020年2月1日(土)10:00~12:00
- ◇講師 NPO法人 日本サハリン協会
会長 斎藤 弘美 氏

北海道宗谷岬からみえる近くて、遠い島「サハリン^{からぶと}(樺太)」。
サハリンの今、サハリンに住んでいる残留日本人の一時帰国、
サハリン残留ろう者の日本訪問など、サハリンの最新情報を聴い
て、「知られざる郷土サハリン」を学びませんか？

■申込方法■

下記の必要事項をご記入の上、往復はがき・メール
いずれかの方法でお申込みください。

- ①講座名「知られざる郷土、サハリン」
- ②〒住所 ③氏名(ふりがな) ④年齢
- ⑤電話番号

*メールでお申込みの方は、お申込み後4日を過ぎても応募受理の連絡がない場合は、必ずお問い合わせください。

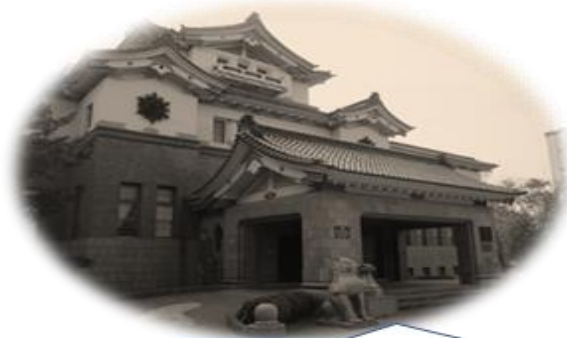
定員に達するまで(先着順)
2020年1月14日 締切

■申込み・問合せ■

〒260-0045 千葉市中央区弁天3-7-7 千葉市生涯学習センター
学習推進グループ講座企画担当 電話 043-207-5820

E-mail:kouza@chiba-gakushu.jp

特定非営利活動法人 日本サハリン協会



ユージノサハリンスク
サハリン州郷土博物館

■設立の趣旨

1988年に「平和の船」で樺太（現サハリン）を訪問した人達に、樺太に残留している人達から、日本への里帰りの実現に向けて支援の要請があった。これに応えるため有志により、1989年12月に里帰り・一時帰国の実現に向けて「樺太（サハリン）同胞一時帰国促進の会」が設立された。



サハリン州ホルムスク
王子製紙真岡工場跡

■設立後の経緯

会の運動が実り、1990年5月28日第一次の一時帰国者12人がユージノサハリンスクからハバロフスクを経由し、新潟空港に到着、以後一時帰国者受け入れ支援を実施。その後、1992年12月8日「促進の会」を発展的に解消して「日本サハリン同胞交流協会」を設立し、1996年からは永住帰国者の身元引受人の団体登録、以後団体引き受けを実施している。さらに1999年にNPO法人となり、樺太等残留邦人の集団一時帰国に関する事業を、また2000年度からは樺太等残留邦人の情報収集調査に関する事業を国から受託された。そして、協会役員、会員ともに高齢化が進んだことから、2012年12月12日「特定非営利活動法人 日本サハリン協会」と改称、役員を一新して、樺太等残留邦人の集団一時帰国に関する事業、情報収集調査に関する事業を継続して行っている。

北方領土パネル展 2020年2月1日～11日

千葉県総合企画部政策企画課と共催して、生涯学習センターのアトリウムにて開催します。北方領土は、北海道の北東洋上に連なる択捉（えとろふ）島、国後（くなしい）島、色丹（しこたん）島及び歯舞（はほまい）群島をさします。江戸時代に日本人によって開拓され、日本人が住み続けていた島々です。北方領土といわれているのはサハリン（樺太）ではありませんが、ともにかつては日本の土地でした。「知られざる郷土、サハリン（樺太）」にあわせて、北方領土パネル展をご覧ください。